

# 議会運営委員会報告書

令和2年4月30日

備前市議会議長 立川 茂 様

委員長 掛谷 繁

令和2年4月30日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

## 記

| 案 件   | 調査結果 | 備 考 |
|---|------|-----|
| 1 議会の運営に関する事項についての調査研究<br>① 次期定例会の予定について  | 継続調査 | —   |
| 2 議会の会議規則、委員会に関する条例等についての調査研究<br>① 議会運営委員会の定数について   | 継続調査 | —   |
| 3 議長の諮問に関する事項についての調査研究<br>① 議会報告会について<br>② 行事予定について<br>③ 前期からの申し送り事項について<br>④ 議員研修会の開催について<br>⑤ 今年度の委員会行政視察について | 継続調査 | —   |

### <報告事項>

- 議会図書室蔵書の充実について
- クールビズについて



## 議会運営委員会記録

|       |              |        |          |      |
|-------|--------------|--------|----------|------|
| 招集日時  | 令和2年4月30日（木） |        | 午前9時30分  |      |
| 開議・閉議 | 午前9時30分      | 開会 ～   | 午前11時27分 | 閉会   |
| 場所・形態 | 委員会室         | 閉会中の開催 |          |      |
| 出席委員  | 委員長          | 掛谷 繁   | 副委員長     | 土器 豊 |
|       | 委員           | 中西裕康   |          | 尾川直行 |
|       |              | 守井秀龍   |          | 石原和人 |
| 欠席委員  |              | なし     |          |      |
| 遅参委員  |              | なし     |          |      |
| 早退委員  |              | なし     |          |      |
| 列席者等  | 議長           | 立川 茂   | 副議長      | 橋本逸夫 |
| 傍聴者   | 議員           | なし     |          |      |
|       | 報道           | なし     |          |      |
|       | 一般           | なし     |          |      |
| 説明員   | 議会事務局長       | 入江章行   | 議会事務局次長  | 石村享平 |
|       | 庶務調査係長       | 坂本 寛   | 議事係主任    | 楠戸祐介 |
| 審査記録  | 次のとおり        |        |          |      |

### 午前9時30分 開会

○掛谷委員長 ただいまの出席は6名です。定足数に達しておりますので、これより議会運営委員会を開会いたします。

きょうの議題は、議長の諮問に関する事項についての調査研究で、新型コロナウイルス感染対策に係る我々議会の対応と報告事項となっております。

冒頭、立川議長より御挨拶がございますので、よろしくお願いたします。

○立川議長 皆さん、おはようございます。大変お忙しい中、ありがとうございます。

先般の全員協議会で御提案させていただきました緊急提言の際、皆様には数々の御意見をいただきました。私の思うところなのですが、今般の事業は国策による給付事業で、緊急措置であることから、全自治体、1,741団体で、一斉に行われるもので、自治体の対応いかんで実施時期は大きく差が出てくるものと思われま。そうした中で、執行部の専決を認めている自治体もあれば、岡山市を初め、近隣市町では議会の提言により事前準備に取り組み、一日も早い給付に向けて動き出しておることは、皆さん御承知のことだと思いま。

当備前市におきましても、プロジェクトチームを立ち上げ、準備をしているところでありますが、事務ソフトの発注、委託契約の締結、人件費の確保等、予算を伴うことは、議会の議決が必要であることが原則であります。そうした中、現状のタイムテーブルを考えまると、議案の提案は5月の中旬、議決後、ソフトの発注、委託契約締結が5月末、申請書発送が6月初旬、申請書の回収、チェックが6月中旬、送金処理が6月下旬と見込まれておいま。

動きの早い自治体では、5月1日よりの給付も可能との情報もあいま。果たして今のスケジュールで備前市民の満足が得られるのでしょうか。事業の検証は、実施後にも可能ではないでしょうか。今は、緊急事態宣言下で非常時であるとの認識に立ち、事前準備を容認する動きが必要ではないかという判断により、提言をさせていただいたものであいま。皆様の積極的な賛同を得られなかったことは、私の不徳のいたすところと反省し、おわびを申し上げます。

つきましては、全協で申し上げましたとおり、議会運営委員会へ諮問をさせていただきますので、御審議をお願いいたしま。

なお、今回の提言は、迅速な対応が必要となっておりますことから、期日はきょう限りというふうには考えておいま。よろしくお願いたします。

○掛谷委員長 ありがとうございます。

休憩しま。

### 午前9時34分 休憩

### 午前9時35分 再開

○掛谷委員長 休憩前に引き続き委員会を再開しま。

ただいま立川議長から特別定額給付金に対する緊急提言の御発言で、最初にこの給付金に対して早急にすべきだということについては、申し入れをされたところですが、もう少し補足してく

ださい。

**○立川議長** 最初に申しあげました4月24日の緊急提言書は出しておりません。先ほど申しあげましたように、全協で積極的な賛同が得られなかったということで、議運のほうに諮問しますということで全協は終えております。これを出さなかったことによるタイムスケジュールは、先ほど申しあげたように、今の予定でいけば、備前市では議会の議決を経てから動くということになれば、6月になりますということを申しあげ、状況を説明させていただきました。ちょっと誤解のないように、出しておりませんので、よろしくお願いします。

**○掛谷委員長** では、そういうタイムスケジュールで行くのか、議会として議会運営委員会の中で、極端に言えば専決でやってくれという話も出して、ここで協議したらいいということでもいいんですか。どう考えたらいいんですか。

**○立川議長** 先ほど申しあげましたように、専決をやっておられるところもあるし、近隣では議会の提言により、事前にこの予算は認めるから先に動けということをしておられるところもございます。ですから、備前市としたら、スケジュールをちょっとでも前倒し、一日も早くということで、ある程度予算的なものは後でいいから先に取りかかってくれと。現状ではプロジェクトチームができております。ところが、陣容だけはできましたが、予算的なものの、いわゆる武器は与えられていない状況なんです。議会として、それをやったらどうかと。ちょっとでも早くするように応援しているよということができたらなど、そういう申し入れをしたいというところもございます。

本来であれば、もう御承知のとおり、議決があって初めて予算が動き出すわけですから、そのスケジュールは、先ほど申しあげました5月中旬、今の予定では8日に議案発送、15日臨時と。そこで議決をしてからしか予算は動きません。今回それでいいのかと。緊急車両が通っておるんだから、道をあけて応援してやろうという提言があちこちでなされて、それに沿って進んでおられます。あるところでは、財調の資金を前倒して出すというふうな議決をされたところもございます。このままルールどおりやっていいのか、いや、ある程度目をつぶるから、この件については前倒しでやってくれという提言をするのかというところもございます。

**○掛谷委員長** わかりました。

じゃあ、ここからは、委員の皆様方の御意見を頂戴したいと思います。

どうぞ、皆様方の御意見はどうでしょうか。

**○尾川委員** 非常事態じゃからというて、何でもかんでも議決せずに専決でいくというのは、間違うと思うよ。きのうの山陽新聞に瀬戸内市が5月8日の臨時会に提案するという記事が出る。準備だけしときゃあ、執行部のやり方じゃと思う。緊急なら緊急の対応をして、やり方じゃと思う。それをこっちに持ってきて、責任をこっちもとれというような言い方をするのは、ちょっとおかしいんじゃないかなと思います。

**○掛谷委員長** ほかにはどうですか。

○守井委員 執行部がどう考えとるかというのがわからんのじゃけど、執行部はどういうぐあいにやりたいかという意見というのは聞いとんかどんなんか、その辺はいかがなんでしょうか。例えば僕が思ってたのは、きょうの委員会なんかは次の議会をするための運営委員会をやるぐらいのスピードでやらないと、それこそ早く届かないんじゃないかと思うわけなんじゃけども、執行部はそのような動きをするなら、早くするように動かにゃいけないんじゃないかと思うけれども、執行部はどうかというの、聞いとるかどんなんか。

○掛谷委員長 議長。どう聞いておられますか。

○立川議長 誤解があれば申しわけないんですけど、これは専決でやれということではなくて、応援したらという意味での発言でございました。

先ほど守井議員の言われました執行部云々というお話ですが、執行部は備前市の場合は議決がないと動けないという認識でおられます。

○守井委員 議決をするためには、早目、早目にやっていかないといけないんで、本当言やあきょうでも発送できるような形にするような話にしときゃええんじゃないかと思うんじゃけど。

○立川議長 私が聞いておりますのは、全自治体が一斉に係るということで、事業ソフト、その他、見積もりがなかなかとれない状況ということではお聞きしております。なるほど、幾ら事前にしても予算の裏づけ的なものがなければ動きがとれないというふうには聞いております。

○守井委員 この間の24日の段階では、法律がどうなるかというような形でわからないような状況だったんですけども、いよいよきょう、国会が通るという形になるんで、きょうの日付であれば、ここの事前という準備がどうかという話になるんですけど、この緊急提言書については早目に出して、執行部に早く運用するようという話は当然出していいんじゃないかと私は思いますけど。字句の文言について、細かい点は任せるにしても、出すことについては、30日の段階では国会は通るような形になるので、通った暁には提言書を出しやあええんじゃないかと思えますけど、いかがですか。

○掛谷委員長 そういう意見でございます。

ほかの委員。

○中西委員 私は、この24日の緊急提言が全協で採択されなかったということ自体が遺憾だと思っているんです。内容の多寡の問題は別にして、もうこの24日の段階では、備前市にはこの給付金については特別な対策班ができて、その準備にかかっていたわけです。だから、市のほうもそういう対応をしとったわけですから、一刻も早く出すようというふうに言ってしかるべきだったとは思っています。

それから、採択はされませんでしたけども、専決処分で行うことについては反対です。一体全体どのようなものがフリーハンドで出てくるんかと。特別定額給付金だけでなく、他の施策も含めて市は出してこなくちゃいけないと。

本来ならば、5月24日の臨時会に出てもしかるべきだと私は思っているんです。といいます

のは、コロナ対策会議が何回か開かれましたが、その中で少なくとも私の知り得る限り2回は、各課からどういう対策が必要かという意見を上げてくれというふうには市長は申されたようですが、各課から何も出てこなかったというふうにおっしゃられました。私ども日本共産党のほうは、御承知のように、25項目において市長がやるべきことはたくさんありますよと。それも、例えば小規模事業者持続化補助金、これに市独自の上乗せを行ってくださいということを申し上げましたけども、これはもう既に西日本豪雨のときに備前市はやっている事業なんですね。私どもが申し入れた後に、備前の商工会議所と東商工会がこの問題でぜひやってほしいという要望書を市のほうに出しておられましたけども、だから本来やるべきようなところを4月24日の段階で出すことができたと思うんです。

市長に言ったのは、4月24日の臨時会に追加議案でもいいから出してくれと。それがだめなら、5月の初めに臨時議会を持ってくれというふうにお願いをしてあるんです。つまり、5月15日なんかに、そんな遅くまで延ばさなくたって、もっと5月の早い時期に私は臨時会を持って構わないんじゃないかというふうに思うんですけど。執行部の対応は、何しろスピーディーでなく遅いと。そういう意味では、たくさん要望項目があるし、今まで備前市もやってきた実績もあるんで、各団体から集まってきているものがあると。だから、それはできるところからやっていけばいいと思っている。これが第1回の予算であって、2回目、3回目にも予算をつけていかないと恐らく今回対応できないコロナの問題じゃないかと思うんで、スピードが要求されてると。

**○掛谷委員長** ほかの委員の皆さんは。

**○石原委員** 去る24日の全協で、議員の中よりこの緊急提言（案）について、たしかもうちょっと具体的にスケジュールでもって提言すべきというような意見が幾つか出て、取りまとめに至らなかったと記憶しとんですけれども、あくまでこれは緊急の提言ですので、ここへ記されとる一日も早く市民に届けられる体制を求めているんで、これはきょうの日付であっても、果たして緊急提言の意味をなすのかどうなのかわかりませんが、議会としてはとにかく一日も早くということで市に提言なり、申し述べることは大いに賛同したいと思いますし、それから先ほど来の議論の中で、今の予定では15日に臨時会、補正予算、これらの事業の経費も含めて、補正予算が提案をされて諮られるということなんですけれども、国のほうできょう決まる給付金の支給についての準備というのは、そういう予算づけがなくても、市役所の中で一日も早く市民の方に届けられるように事前の準備を早急に行うことはできるんですか。

**○掛谷委員長** 答えられますか。

**○立川議長** 事務的なプロジェクトチームを立ち上げているという報告は24日にあったところです。ただ、御存じのとおり、これを動かすには事務ソフトであったり、委託契約が必要であったり、発送日、郵券代等々発生すると。予算絡みの分については、備前市では議決後しか動けないということで、皆さんが危惧をされておるところでございます。ですから、あえて事前準備、

例えば見積書をとれとか仕様書をちょっと発送してゴーになればすぐできるようにというふうなイメージで議会が後押しできたらなという思いでございます。現状は、予算が伴う動きはとっていない、とれていないという状況だと思います。

**○土器副委員長** 私は、緊急提言のところ、中西議員と考えは同じです。あの日に全員協議会で承認して出すべきだったと思っています。

それから、今回は専決でもいいんじゃないかと。災害と同じような考え方で専決をしたらいいんじゃないかと思います。こういうときに、執行部と信頼関係が大事じゃなからうかと思いません。

**○中西委員** 私は、議会の招集告示が1週間ということは、今回の場合必要ないと思うんです。たしか、そこところは融通がききましたよね。だから、8日か7日告示で15日ということにする必要はないんで、それこそ3日もあれば十分じゃないですか。要は、市の執行部が案をいまだにまとめてないというのが問題だと思うんですよ。だから、そういう意味では、もし24日のこの文書がまだ生きるんなら、生かしてもいいぐらいだと思うんですけど。それは、執行部の対応が遅いって。

**○尾川委員** 支給日は遅えのがええというんじゃないですよ。瀬戸内市は、要するに6月以降に口座に振り込む予定よ。予算は、1億4,000万円を見込むと。ほいで、5月8日の臨時議会には、その関連の事業費を出すというスケジュールになっとるわけじゃ。その辺、備前市はどのくらいに出そうとしとんか。

**○中西委員** 執行部は、議長が言われたように、15日に臨時会を開くということを書いてきとられるわけだから、スケジュールは示しているわけですよ。でも、それでは遅いと、もっと早目にしろと僕は言っているわけですよ。

本来、これが通っていてどうなるのかわからんよ、だけどうちの議会としては一日も早く出せと。給付金だけじゃなくて、ほかの施策も含めてね。消毒薬だけじゃなくて、いろんなものが、資材なんかも不足しているわけだし、15日では遅い。専決は、認めたらほかの予算も全部執行部の言うとおりで結構でございますなんてことになってしまうから、絶対認められない。

この間、市長と何回か会って話をして、要望書を出しても何ら返事がない。小規模事業者持続化補助金の上乗せは西日本豪雨のときに備前市はやっているんですよ。それをやってくれと。商工会議所も商工会もそれを言っているんだけど、それさえやらんわけですよ。恐らく、今度の5月15日にはこれを出してくるんかもわかりませんが、もう既にそういう話をしてから1カ月以上たっているわけです。だから、5月15日、それは1週間待たんでもいいわけだから、早目に臨時会をやってくれと、我々も対応しましょうよ。

**○守井委員** 議会日程をここで決めるような話を相談するんじゃないしに、これを出すか出さんかの話をしょんじゃないんか。これをまだ出してないんじゃないから、出すか出さんかの相談を今回やりよんじゃねえんか。それとコロナ対策をやらにゃあいけんのじゃないんかということ私を議

運で提案したときに、各委員長が集まって、議運の委員長も含めて相談したら各委員会でやりま  
すよという話をしたから、各委員会でいろんな問題をやるんだらうと。やるんであれば、早急に  
委員長が招集していろんな問題をやるんかと思えば、また議運に戻ってきたような形になったん  
だけれども、今の問題点はこの緊急提言書を出すか出さんかの話で、今中西委員がおっしゃっ  
たように、コロナに対してはいろんな問題がたくさんあると思うんですよ。だから、それはまた議  
運でまとめてやるんか、委員会でやるのか、それはまた別のことだらうと思うよ。要するに、こ  
の緊急提言書とこれをどうするかということを相談すりゃあええんじゃないかな。それで、議  
会を早う開けとかという話をここでするわけかな。どなん、委員長。

○掛谷委員長 順番で言えば、遅くなったけど確かにこの緊急提言書というものを早く出すと  
もに、恐らく臨時会をやるということがスケジュールなんでしょうから、それを一刻も早くまた  
前倒しができないのかということと、あと新型コロナウイルスの具体的な、皆さんの御意見で固まら  
ば、もうきょう一斉に出すというような形でどうでしょうかということになります。

○中西委員 これをこの議運で決めるというのがきょうの話なんですか。ちょっと僕は事務局の  
ほうに聞きたいんじゃないけど。これは、もう済んだ話で、これを上げるとなれば全員が集まらない  
と上がりませんよ。このところできる話なんですか。

○掛谷委員長 今の中西委員に対して、事務局はどういう認識。  
休憩します。

午前10時01分 休憩

午前10時04分 再開

○掛谷委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

第一に、4月24日、これが議運に任されてきょうに至ったわけですけど、きょうの日付でこ  
れを出すことでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

これは、1つしかございませんけど、そういうことで、議運に任されて、じゃあこれは決まっ  
たということでやらせていただきます。

○中西委員 さっきの議長の話だと、これを上げるかどうかは、議会運営委員会に諮問しとんだ  
と。だから、議会運営委員会で上げれば、議会の意思なんじゃということさっきから言うたら  
れるんだと思うんです。

○掛谷委員長 はい、そうです。

だから、これはきょうの日付で出しましょうと。

○中西委員 だから、議運じゃなしに備前市議会議長で出すと。

○掛谷委員長 余分ですけど、岡山市はプロジェクトチームをつくって、議長とプロジェクトチ  
ームの座長の連名で出しているわけですよ。だけど、うちはそんなプロジェクトチームをつくっ  
ていませんから、議長が代表で出すということになつとるわけ。

休憩します。

午前10時06分 休憩

午前10時09分 再開

○掛谷委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

もう一度確認をさせていただきます。

特別定額給付金に対する緊急提言書（案）を議決しました。承認いただければ、日付をきょうの日付と、それから1日前の日付で感染者の数、そのあたりの修正を加えて、立川議長から田原市長へ提言書を提出すると。これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、これはそうさせていただきます。

それでは、次に参りますけども、新型コロナウイルスの今回は感染症対策に係る議会の対応について、案として全部で8項目ございます。また、参考に岡山市が28日に大項目5つ、それから小項目もございまして、参考にさせていただいて御協議いただきたいと。この議長案をしていただければ。

○立川議長 御承知のとおり、このたびのコロナ対策についての提言等々は、委員会の提言であったり、個別の提言がなされているところではあります。この非常時を乗り切るために、議会として具体的対応策を提言、意思表示していくことが必要ではないかと思うところでございます。ことはスピードを要する事案であることから、大変恐縮ではございますが、参考になればと具体例を幾つかお示しを示しておりますので、先ほどお配りいただきました岡山市の提言も御参考にいただき、少しでも予算計上に繁栄されるように早急な提出を考えておりますので、よろしくお願いをいたしたいと思っております。

○掛谷委員長 ありがとうございます。

では、この件に関して皆さん方の御意見をいただいて、これもきょうもうこの議運で決めていただいて、同じように市長宛てに出していくという、こういう段取りで行きたいと思っております。

○立川議長 済みません。申しおくれまして、これは2番目がございまして、議会对応ということで、議会費の削減はできないものかなということでございます。対策財源確保に議会も協力しているという意思表示をしてはいかがかという思いでさせていただきます。

御存じのとおり、こういう状況ですので、全国的に自粛ムードの中、視察であったり、セミナー等の参加の縮小が見込まれております。ということから、幾分の減額を検討してはどうかなと。使わなければ当然一般会計は戻されるわけですが、どうにか議会の意思表示はできないものかということでもう一点、行政視察予算の減額も考えてみてはいかがかと。理由は御承知のとおりでございます。今年度中の視察活動の自粛はやむを得ないだろうなということで、予算の削減を計上してみるのもできるのかなという思いで1番、2番を提言をさせていただきます。

○掛谷委員長 まず1番のところ。

○尾川委員 議運で決めてしまうと言うけど、ほかの議員もおるんじゃから、意見は一応聞いて、時間はかかるかもしれん、もたもたしよったらおくれるというのがあるけど、それは仕方ねえんじゃねん、みんなの意見を聞くというスタンスは必要なんじゃねえかな。

○立川議長 おっしゃることは大変よくわかります。本当は全協でもしたかったんですが、御予定もごさいますし、議運に出席いただいている方は、それぞれ会派の代表者であったりだと思います。もしよろしければ各会派それぞれにお電話いただくなり、緊急だということで御理解いただければありがたいと思います。

○尾川委員 こっちが言よんのは、要するにみんなの意見を聞いて、まとめていく努力をせにゃあいけんということを言ようるわけじゃ。内容が悪いというんじゃねんじゃからな。みんなの意見を聞いて、議員は15人しかおらんよ、そういう人の意見を聞いて、異質な意見というのを取り入れていかんやあいけん。これよりまだほかにあるかもしれん。ここでも出るかもわからんけど。まず、それが前提条件じゃねえん。どうしても強引に引っ張っていくというんならやりゃあええけど、そういうもんじゃねえよ、議会運営というのは。

○掛谷委員長 入り口論になっております。皆さん方の御意見をいただきたいと思います。

○守井委員 考えりゃあいろんなことが考えられるから、その項目については、ある程度任せるということになるんですけど、皆さんの了解を得てから出すという形でやらなきゃいけないんじゃないかなと。もし、するんであれば、反対に提案していただいて、代表者会議をやっただいて決定するという形なり、先にその話をしてから進めないと、後からそういう話にしましよるということにはならんんじゃないかなというふうに思います。

○立川議長 申されることはごもっともでございまして、私がきょう決められたらいいなというお願いですので、皆さんの中から今後検討していくということで、閉めていただいても結構でございます。

○掛谷委員長 ほかの方の御意見をいただきたいと思います。

○中西委員 政策提言ということで、議長がつくっておられる案というのは、これは一つの案でなんですけども、岡山市のを見ると、これは恐らくかなり議論をして詰めてきた項目だなという感じがするんです。それは、プロジェクトチームをつくって、恐らく相当練り上げてきた提言じゃないかなと。議会として出すということになると、そういう作業の手順が必要かなという感じはします。個別には賛成するところもあれば、もっとつけ加えてほしいというところもありますし、ただ今の時点で、これを出してほしいと言われれば、それはそれでいいかもわかりませんが、議会の知恵の集め方というか、意見の集め方は、プロジェクトチームをつくるなりして集めるというのがいいのかなという感じはしますけども。

例えば細かい話ですけど、これは、岡山市のをとってみても、コロナウイルスの治療と事業者への補償と子供のところというところですけど、例えば僕なんかこういうのが気になるわけですけど、姉妹友好都市を結んでいますけども、そういう都市はどうなっているんか。うちより

もひどいところがあれば、そこへもお見舞いも出さなくちゃいけないだろうし、あるいは支援物資を送る必要があるかもわからない。たくさん項目が考えられるところではないかというように思うんですけど。

○掛谷委員長 ほかには。

○守井委員 決め方の問題で、それを代表者会議にするか議運にするかというような話で、それも違って、議運がそれぞれの会派から出ているんだから検討していただいて、再度議運なら議運を開いていただいて、それでよろしいということになって進めていくということでもいいんじゃないかというふうには思いますよ。

○石原委員 直近でいくと、議運が今度開かれるのは臨時会前ですか。

○石村議会事務局次長 議会運営委員会ですけれど、8日の招集告示、議案発送となりますと、週明けの11日月曜日が議会運営委員会となります。

○掛谷委員長 議運がね。早う開こうと思うたら。

○守井委員 きょうの委員会も急遽決まったような話なんで、この議運は開こうと思やあいつでも開けるんじゃないかな。

○掛谷委員長 そうですね。開けますよ。

○石原委員 岡山市さんは、議員さんの数も多いし、プロジェクトチームが何人で構成されとらんかわからんですけど、ありとあらゆる市民の方、立場もありますし、ありとあらゆる団体から多々要望も寄せられましょし、本当に要望事項でいうたら何ぼでも出てくると思うんですけど、議会としてそれをどう取り扱うかなんですけど、各分野、方面のところは、それぞれの常任委員会のところも政策提言であつたり、そういうところも受け持たんといけんと思うんですけど、今のところの案で出ておりますこの8つあるうち総務産業委員会の所管になり得る案件というのは、1番、3番と7番ぐらいですか。

1度、連休明けに総務産業委員会を開いて、これらに係る政策についても皆さんで御協議いただきたいとは思ったんですけど、その前に臨時会の開催予定も入りましたんで、そこでは現時点での市の対応の考えが反映された予算も伴って出てくると思いますので、それも見きわめた上で、今後こういうところが不足しとんじゃないかという議論にはなってこようとは思いますが、きょうこの場でよっしゃこれだけでいきましょう、これを加えていきましょうというのは、ちょっと難しいかなと。近々この議運を急遽開催するんであれば、してもいいということです。

○掛谷委員長 ほかにはよろしいですか。

○守井委員 きょうみんなで協議して各会派で協議してもろうて、あしたにでも議運を開いたらいかがですか。

○中西委員 この政策提言項目のところですよ。だから、あすでもいいですよ。

○掛谷委員長 よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それぞれ意見をお聞かせいただきました。会派でようもんでもらうて、意見を聞いたものを出してもらえば、会派代表者会議で出していただいてまとめていったら。そのまとまったものを今度は議運で決めるのか、会派代表者会議で決めたらそれでいいのかというようなところも実際あるんです。岡山市がなぜこのプロジェクトチームをつくっとんかといえば、緊急だからです。

**○土器副委員長** 委員長、個人的な意見は言わずに、守井委員や中西委員があすでもやらんかと言ようわけじゃから、それを諮るべきじゃろう。

**○掛谷委員長** あしたできますか。

**○尾川委員** 委員会でも何かというふうな意見が出たが。じゃから、それをどうするかということをもとめんことにはな。それで、会派代表者会議で議事録も残らんようなところでやってでえんかということをもっと議運の中できちっと決めていかにやあいけんと思う。委員会でやったらどうかという提案をくれたわけじゃ。

**○土器副委員長** 今守井委員や中西委員からあしたでもやったらどんなんという提案が出たから言ようわけじゃ。

**○石原委員** 濟いません。僕は総務産業委員長の立場としてさっき申し上げたんですけど、本当にいろんな政策、あれもしたほうがええんじゃねえんか、これも必要なんじゃねえんか、これはどうなんじゃろうか。ここの8つに限らず何ぼでも出てくると思うんですよ。子育て支援から就業者の関係、中小企業の関係、個人事業主の関係、本当に多岐にわたると思うんです。それらの中から、議会としてこれを一層の対策を求めることというのもなかなか難しいことかな。とりあえず言っとうこうというんじゃったら、何でもええんですけど。

岡山市さんの例を見ても、さっきの定額給付金の支給に関する緊急提言は一日も早い対応を求めるもの、それからこっちの具体的な政策に関する提言については、一層の対策を図るよう提言するというものなので、市の現状の政策がどの程度進んどんかとかというところも見きわめての提言じゃと僕は理解しとんで、市の現状であつたら市民の現状、事業者の現状というところも含めて提言をされとんかなと。

備前市議会、そんな部分がまだおくれとると言われるかもしれんんですけど、そういうところを見きわめたり、市の状況も見きわめた上で、じゃあ議会としてここが足らんのかなんか、これはしたほうがええんじゃねえんかというものをまとめていかんと。

だから、僕はこっちについてはそこまで急がんでもええんじゃねえんかなという捉えでおるんです。そりゃ、あした開きゃええんですけど、一呼吸置いて、これからいよいよきょう国会でも決まって始まるわけですから、それから全国民10万円に限らず、中小企業や個人事業主向けの持続化給付金なんかも、それこそこれから始まるんでしょし、そこらも見きわめた上でやっていかんと。市議会として、具体的にこれとこれとこれを進めましょ、それは言葉にして文章にするのは簡単なんですけど、そこが難しい作業かなあと。どうピックアップして、どうまとめて

いくか。それをこの議運で議論すりゃあええんでしょうけど、現時点では何か難しいのかなという。

○守井委員 今言うように、個別の案件については、厚生文教に所管する部分、総務産業に所管する部分、いろんな問題があるかと思うんですよ。けども、この趣旨からいえば、できるだけ早目に対応をとってもらえるものからでも成案していこうじゃないかという意味合いの2弾目と捉えたらいいんじゃないのかなと。本当に必要なことは、それぞれ委員会でしっかり審議していきなり、どうしても議会として提案していかなければならないものがあるのであれば、第三弾とか四弾とかという形を考えればいいんであって、とりあえずは第二弾として具体的なものを進めてほしいという意味合いで捉えたらいいんじゃないかなと思うんですけれども。

○中西委員 私もこれを読んでみて、これは集団で討議をして、岡山市の状況に合わせた文章になっているんだと思うんです。議長がここで政策提言事項って書かれていますけども、5月15日には、臨時会が開かれるということですから、ぜひ定額給付金を支給するだけでなく、こういう項目も予算の中に組み込んで欲しいと。議会としてそのことを要求しようじゃないかという趣旨だと思うんですよ。

だから、我々が要望できるようなところをあすでもまとめて市に提出できれば、5月15日に市が提案してくるものを後押しもできるし、新たな提案もできるということじゃないかなと思うんです。そういう意味では、これも急いだほうがいい。ただ、これで終わりではないと。あと、第二弾、第三弾もする必要があるのがこのコロナの長期戦の特徴じゃないかなと思うんですけど。5月15日をにらんで、とりあえず議会の意見だけ言うところということだと思うんです。

○石原委員 そういうことも含めて、あした改めて議論しましょう。

○掛谷委員長 皆さん、カレンダーを見てください。カレンダー的に言うたら、4連休なんじゃ。じゃから、あした1日はいいんだけど。あしたやるんか、7日にやるんかということに。皆さんはどう考えているんですかカレンダーを見ながら、あしたやるんだったらあしたええんですよ。

○中西委員 いいですよ。

○掛谷委員長 じゃあ、あしたは何をやるんですか。議会運営委員会をやるんですか。

○中西委員 会派代表者会議というのは置いておいて、この議運でいいと思うんですよ。それなりの代表が出てきとるわけですから。会派の話聞いて、ここへ持ってくるから、ここで論議させて。あとは委員長、よろしくお願いします。

○掛谷委員長 はい。そういうことで、会派の中でよう検討していただいて。事務局はどうですか、あした各会派なり、持ち寄って文書にされるほうがいいと思いますよ。会派の皆さんが口で言うよりも文書にしたものを出して、あしたこうやる段取り、問題はないでしょうか。

○石村議会事務局次長 議会運営委員会が開催されるんでしたら、対応はさせていただきます。

○掛谷委員長 はい、わかりました。

○守井委員 その内容だけでええかだけでも確認をとったらいいで、もし追加があるんじゃないら、絶対これをしてくださいというのを相談すりゃあええ。基本これでええかということを確認してもろうたらええと思う。

○掛谷委員長 議長案を出しておりますけども、これを基本にして足らずを追加で出していくということでもよろしいでしょうか。

○守井委員 あとは追加でやるような格好にして、これでええかどうかだけ各会派で確認してもろうて相談するというのでいいんじゃない。

○掛谷委員長 守井委員の提案でもよろしいでしょうか。

結局は、参考にしながら最終的にそれぞれの意見を出してもらって、共通点を全部入れていけばいいわけですよ。

○守井委員 新たに提案事項を出して、それを協議するというなら、またそれに時間がかかるから、とりあえずこれでどうかということだけ確認してもろうて、ここで相談して、あとどうしてもとということになりゃあ、2弾、3弾で出せばいいんじゃないかというのが私の話です。

もし入れ込むとすれば、入れ込む案をまた持ち帰らなくちゃいなくなるんですよ。これでどうかだけを確認してするという格好にしとったほうがいいと思いますよ。

○掛谷委員長 その意見がちょっと分かれています。どうぞ、皆さん方も言うてください。

○中西委員 それがある意味ではやりやすい方法かも知りませんが、各会派へ持ち帰ってみると、結局、いや、こういう項目も入れてほしいというのが出てくるんじゃないかと思うんですよ。それは、それで可能な限り入れてあげればいいとは思いますがね。それをあした持ち寄ってくる。

○守井委員 それでは、あしたじゅうにはこれは決まらん話になるよ。

○中西委員 追加項目を持つてくるわけですから。

これでいいんかという、ほかにもあるけども、これで反対ではないですよ。だったら、きょうでも決められんことはない。だけど、会派に聞いて、議員の意見を聞いて、もう少し項目もこんなが出てきましたというのがあれば、それは入れてあげればいいじゃないですか。そうしないと、何で会派に聞くんかという意味がなくなってくる。

○守井委員 これでええかというのを会派に聞くという意味はあると思うよ。

○中西委員 それだったら、もうきょうここで別に構わんですよ。

○掛谷委員長 とりあえず決めておきたいのは、じゃああした9時半、議会運営委員会を開催する。

○石原委員 あすで結構なんですけど、できれば午後を希望したいんですけど。

○掛谷委員長 午後ね。

いやいや。急なことなんでね、いろいろありますからね、それは。

よろしい。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、あした午後1時半でいいですね。議会運営委員会を開催すると。

会派に持ち帰って、できれば文書でその追加分なり、それをわかりやすくしておいていただければ助かります、議会運営上、スムーズに行くとは思いますが、御協力をいただきたい。

○中西委員 僕は委員長の言う話でいいですよ。でも、守井委員の話は違うんですよ。

○掛谷委員長 いや。追加はないかもわからんから、そのままかもわからん。

○中西委員 その会派はそれでいいということなんですよ。

○掛谷委員長 そうそうそう。

○中西委員 了解しました。

○掛谷委員長 ここで、休憩をいたします。

午前10時42分 休憩

午前10時55分 再開

○掛谷委員長 それでは、委員会を再開いたします。

それでは、議会の対応についての①、②については、議長のほうから説明がありました。①、②両方含めて使用制限、自粛ということについて、皆さん方の御意見をいただきたいと思っております。どうぞ。

○守井委員 1項目めについては、当然外出自粛期間については、政務活動費で対外的には自粛するわけですから、使用しない。ただ、これらはどんなんですかね。政務活動費の中でも本だとか印刷物、新聞なんかがあるんだろうと思うんですけど、そういうことまで含まれているんかどんなんか、交通費とか宿泊費とかにかかわるものについては当然これでいいと思うんですけども、その点はどう考えとんかな。

○立川議長 御説明の中で申し上げましたように、幾分の減額を検討してはとおっしゃられる今のお話をお聞きして、私がここを試案していたのは月額2万5,000円のうち1万円、4割程度カットすれば年間で12万円、18万円はおっしゃるとおり、いろんな活動もございましょうから、全額ということではなく、そういう意味で減額という考えをお示しさせていただいたところでございます。

○守井委員 頭から減額するという提案をしていたわけかな。僕は、外出自粛期間において、そういう旅費とかそういうものは使うべきではないという考え方だろうというふうに思うから、新聞とか書籍の場合は別に差し支えないんじゃないかなあという感じで思って、一律にそれを削減しますよということには、ちょっといかがかなと私は思いますけど。

○尾川委員 事務局にちょっと聞きたいんですけど、こういうので政務活動費を頭からカットするというようなことはやったことはあるんかな。使わずに返したというのはあろうけど、カットするというのはやったことあるんかな。

○石村議会事務局次長 備前市議会では、記憶にはないです。

○尾川委員 ほんなら次に、例えばわしはそんなことはねえんじゃけど、継続的にリースなんかにしとるのがあるな。そういうのは、それは自分で払やあええんじゃけど、そういうのはどういふふうにとんとん。個別はもう適当に議員が勝手に判断せえと言ようるわけ。

○入江議会事務局長 事務局としては答えにくいところなんですけど、全体として年間30万円あるうちを今年度に限っては、例えば20万円にするとか、そういう意味合いのものを内外に示そうというのが議長の思いだと思います。

○掛谷委員長 何か具体的な話が出ましたけど、ほかの委員の方はどうでしょう。

○中西委員 こういう時期ですから、それは考えてしかるべきじゃないかと思うんです。政務活動費で言えば、ただ気になるのは事務所費だとか電話代だとか、そういう固定的なところを入れている人たちがその20万円で大丈夫なんかなど。個々の人の中身はようわからんですけど、私は何とでもなると思っていますんですけど、ほかの議員の皆さんの最大公約数になるんかどうか、そこだけが気になるところです。

○石原委員 当然自粛期間で非常事態宣言が全国に発令されて、大きく費目の中で影響するのは、視察費と調査費でしたかね。そのあたりだとは思いますが、幾らかのこういう状況を鑑みて、備前市議会として本来は年間30万円だけれども、幾らか減じる形でこの事態に臨もうという姿勢を示すことは可であるというふうには思います。じゃあ幾らにしますかというところの具体的な議論だとは思いますが。方向としては、可で捉えております。

○土器副委員長 私は、今議長が提案された月1万円で別に構わないと思います。せえから、仮の話なんじゃけども、1万円じゃったら、18万円になるかと思うんですね。だけど、超えた分については、今やりようる同じの考え方で、自己負担という形でいったらいいんじゃないかなんかと思っています。

○守井委員 それをするんだったら、報酬の1割減を言うたほうがいいんじゃないん。このちっちゃい30万円の話をするよりは、はっきり手当を削減するんじゃと言うたほうが効果が大きいんじゃないん、同じするんじゃったら、1割削減しますとかという話で。そっちのほうがいいと思うけどな。たかだか政務活動費を節約しますというような話やこうよりは。政務活動費というたら、ごく自主的な活動の費用じゃから、それを制限するということ自体のほうが、それよりもわしは報酬を1割さげますよと、寄附というわけにはいかないので、言うたほうがいいんじゃないかというのは思うけどな。

○中西委員 でも、今は移動ができないわけですから、今まで政務活動費の中でもかなり調査研究とか先進地の視察というのは結構金額が張るところですから、だからそういう意味では議員としては非常にやりやすいところじゃないんですかね。どちらにしても、政務活動費、そこは使えませんから、今年度はね。

○掛谷委員長 ちょっと、私のほうから。委員長をかわってください。

〔委員長交代〕

○土器副委員長 どうぞ。

○掛谷委員長 研修であれ、行政視察であれ、視察に行こうと思っても、多分コロナで当面受け入れてくれないし、要はほとんど行けない状況が続くと思うんです。第1波が仮に9月終わりで終わって、今度は第2波が来ると、令和2年度については、非常にそういうような難しいというのはある程度予測がされます。ということになると、そこはもう自然発生的にそれは減額せんでも自然にそうなっちゃうんで、特段にそれを頭から削減するということは別にしなくても、自然に任せておいて十分それでいいんじゃないかなと、個人的には思います。特段にこの文言については、使用制限というよりも、自粛ということでもいいんじゃないかと思います。

じゃあ、かわってください。

○土器副委員長 ほんなら、職務をかかります。

[委員長交代]

○守井委員 意見が合致できんんじゃないから、外出自粛期間中にかかわる政務活動費の自粛についてぐらいの取り扱いで、結果的に余るんであれば余るという形でいいんじゃないかと思いますけどね。例えば20万円にしますという形で皆さんが一致できるかというたら、私たちは一応代表では来ておりますけれども、各議員の考え方もそれぞれあるので、なかなか難しいんじゃないかと思いますけど。

○掛谷委員長 一通り意見を聞きました。じゃあ、取り扱いはどうしますか。

○守井委員 保留なら保留で。

○掛谷委員長 そういう御意見でございます。

あしたの議運がまたあります。それぞれの会派でもう一度このあたりを取りまとめていただいて、これも出していただくということでどうでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

では、そのような形でさせていただきます。

②の今年度の委員会行政視察の自粛についてはどうでしょうか。

○尾川委員 自粛でええと思うんじゃないけど、それにかわる何かをちょっと検討してみるのも一つの先駆けかなと。ただ、自粛で行かんよというのも、それは確かに費用的な問題もあって、協力しようということはどうわかるけど、何らかの研修の方法というのを、個人視察は別にして、委員会の活動の一環として、そういうことを何か方法がないか検討してほしいと思うんじゃないけど。

○中西委員 文言とすれば、僕は委員会行政視察の自粛、つまりコロナとの関係で自粛せざるを得ないというところがあると思うんですよ。今までこの委員会の行政視察の自粛という言葉までは使わなかったですけども、たしか東日本大震災が起こった年については自粛をして、かなり残したと思うんですよ。そういうことを一つは考えてもいいんじゃないかと。尾川委員の言われたようなことも含めて、それぞれの委員会の中で少し何ができるんかというのは考えてもらったら

どうですかね、委員会ごとに。

○**守井委員** 視察がこの秋もどうなるか、1年間の見通しができないので、別に委員会としての視察はやめるんだということであれば、それで差し支えないのかなと思います。ただ、委員会で調査事項はどうしても調べなくてはならないというようなことが起きたときに、何らかの研究会成为せにやあいけんという、先ほど尾川委員がおっしゃったようなことも考えてあげるといことで、反対に視察を受けないということも考えたいほうがいいんじゃないかと思います。

○**石原委員** 同感です。委員会視察については、今年度は控えてということ。

○**掛谷委員長** ②について、自粛はいいと思います、いいんじゃないかという意見で。ただし、工夫をして、何らかの形でできるのであれば考えるという程度のことで、②については、もう一つは常任委員会ですね。議運もありますけど、そこでの御意見をいただくことも、まだ時間的には大丈夫かなと思っておりますけど、このあたりは議長、どれぐらいでもう決めていきたい、どうなんでしょうか、そのあたりのスケジュールは。

○**立川議長** 私どもとしましては、こういったことで議会費の削減はできないのかなということ考えをさせていただいたものでございます。冒頭御説明にもさせていただきましたが、使用残額はほっとけば当然一般会計へは入るんですが、収入減に直面している皆様方、議会としてこうしたいということで、行政視察も予算がついておりますので、この分、例えば補正でばさっと送るといふようなことも視野に入れての提案でございます。

○**掛谷委員長** 具体的にありましたけど、どう取りまとめましょうかね。具体的に常任委員会で皆さんの意見を聞いてというのがあったからな。

○**尾川委員** きょう結論を出さんでもええんじゃないろう。

○**掛谷委員長** それぞれの常任委員会を開催してから決めるというのはちょっと時間がかかったりするから、それはまともな意見だと思ったりもするんですけどね。時間がかかるんじゃないかなと思って。このままでいいですか、②のこの文言で。

○**中西委員** 我々の構成がえの任期が6月に来るわけですから、委員会といっても次の新しい構成がえのところになるわけです。その中でどのように自粛を図っていくんか、また新たなやり方があるかどうか、これは少し検討してもらえばいいんじゃないでしょうか。実際は、自粛という方向でいいんじゃないですかね、移動ができないわけですから。

○**守井委員** 感染の拡大を防ぐために自粛をするということでもいいんじゃないかと思います。予算を減らすために自粛するんじゃなくて、感染対策上、自粛するということでもいいんじゃないかと思いますけどね。

○**掛谷委員長** という意見でまとめさせていただいてよろしいですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、そういう形でこの文言、新型コロナウイルス対策における今年度委員会行政視察を自粛ということで、これはこれでさせていただきます。

○中西委員 もう一つ気になっているのは、議会の研修費なんですけど、これも先生を呼ぶということはできなくなるわけですけども、これはまだどういう形で研修が行われるか、残しておきますか。

○掛谷委員長 今提言がありました議員研修会はどうするかという話がありましたけど、これはどうしましょう。

○守井委員 今の段階でそういうことを議論できる段階じゃないというふうに思いますから、また自粛なりが解けた段階で考えたらいいんじゃないかと思えますけど、いかがですか。

○中西委員 委員長、それでいいですよ。

○掛谷委員長 ということで、研修についても自粛の中で考えていくということでもいいですね。基本的には自粛方向なんだけど、その中でまた考えていくという、ちょっと言い方が適切かどうかわかりませんが。

ほかにはよろしいですか。

○中西委員 これは、ちょっと私も不勉強なところなんですけど、こういう状況の中で、大学とかいろんところでオンラインでの会議システムがされていますけども、私どもがいただいているiPadを使ってのオンライン会議とか、そういうのはできないんでしょうか。

○入江議会事務局長 去る4月24日の議長と事務局との打ち合わせについては、サイドブックと携帯電話で、これは個人持ちですけど、ビデオ通話を使ってオンラインの会議を試しにやってみましょうというのは続けております。今後はこれも前回の議運で対応をお決めいただいたときにはあったんですが、例えば市内で発症したときに、どうするか事務方として準備を進めようとは思いますが、果たして委員会ができるかどうかというまでは検証できていませんので、その程度でございます。

○中西委員 つまり、iPadでできるんですか。

○入江議会事務局長 議員さんが行う審議とか打ち合わせというのは、必ず資料を伴う場合が多いございまして、資料はiPadで見ながら相手の顔を見ながら電話でやると。2つの道具を使って、今のところはやっています。世間でやっているのは、パソコンの前に座って、資料もそのパソコンの画面にぽんと出てきながらビデオ通話はそのパソコンの画面の半分ぐらいでやっている、そんな感じです。そこまでいけたらとは思っております。しなきゃいけないとなったときにできるように研究だけはやっておきたいと思っています。

○中西委員 ありがとうございます。

○掛谷委員長 いいですか。準備を少しずつ進めているという話でございます。

ほかによろしいですね、そのほかは。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、大きい項目の報告事項を議題といたします。

○坂本庶務調査係長 図書室の充実に関しまして、各議員さんで御尽力をいただいているところ

でございます。その中で、先般、尾川議員から品川リフラクトリーズへ品川白煉瓦株式会社の創業100年史について御協議いただいたところ、品川リフラクトリーズの工場長さんと備前市議会議長ということで貸与契約を結ぶということになりまして、そういった書式を品川さんから2通お預かりいたしております。この案件につきまして、議会運営委員会に御報告をさせていただきます。

それからもう一点、先ほど図書室の充実ということで、前回の議会運営委員会の中で図書委員会というような御提案もあったように思います。それにつきまして、市立図書館の司書、館長と意見交換を行いました。内容につきましては、今休館ということになっておりまして、司書の方の御意見をいただいたり、もしくは市議会の図書室の運営に関して前向きな取り組みができないかというような意見交換を行いました。

引き続きそういったことをやっていきたいとは思っておりますが、今ある図書室の蔵書につきまして御意見をいただいたのが、まず郷土に関する本をもう少し充実したほうがいいんじゃないかとか、それからあとブックエンドを用いて、もう少し整理を今後検討されたらどうかとか、あと広報とか議会だより、各市議会からいただいたりしております。そういったものをもう少し見やすい書棚にしてはどうかとか、あと貸し出しのルールを策定してはどうかとか、そういうような御意見をいただいております。今年度、そういったことを随時進めていければいいのかなと思っております。

**○掛谷委員長** 報告が2点ございました。特に、図書の充実でございます。皆さん、御意見があればどうぞ。

**○守井委員** 他市の図書室へ行ったら、物すごく充実した図書を保有している市もあつたり、閲覧専用の書類をたくさん置いた市があつたりで、いろんな市によって考え方がまちまちのような感じがするので、その辺を調査してもらって、蔵書数が物すごく多い市とか、それから図書室の目的がいろいろ違うんで、それを調べて、図書室を対象として調査をしてみただけりゃあありがたいと思うんですけど、いかがですか。

**○坂本庶務調査係長** 県内の15市には当たってみたいと思います。

**○守井委員** どこだったかわからないんじゃないけども、物すごい蔵書のあるところがあつたんですよ。そういうところも全国的に調べて、特徴のある図書室っていうのがあると思うんで、それをぜひ調べていただきたいと思うんで、わかる範囲でいいと思いますけど、いかがでしょうか。議長会に問い合わせとかね、そんなことで聞いてみたらいかがだと思いますけど、いかがでしょう。

**○坂本庶務調査係長** まず、方向性、どういうものを目指すのかということになるかとも思いますが、もし守井委員が言われるように、こういったところがあるよというのがあれば、事務局にお知らせいただきまして、そういった調査ができればと思います。

**○掛谷委員長** ほかに。

**○中西委員** 前も図書委員という話をさせてもらいましたけども、これで構成がえになりますか

ら、次期議会運営委員会への申し送り事項ということで、図書室をどうするのかということでの課題もひとつ入れておいていただけたらというふうに思います。

○掛谷委員長 そういう御意見でございましたので、それは入れておきたいと思います。

ほかには。

○石村議会事務局次長 先ほど1番の中で、日程は出てまいったんですが、5月15日が臨時会ということで、議案発送と招集告示が5月8日金曜日となります。ですので、11日月曜日の9時30分から議会運営委員会をお願いいたします。

それから、例年実施されておりますクールビズについてでございますが、今年度は執行部において5月1日から10月31日までを夏季における無上着、ノーネクタイ運動期間として実施されます。市議会におきましても、先例に基づきまして執行部の運動期間に合わせて、あす以降の会議において実施することと考えております。

なお、東備消防組合議会を除く一部事務組合議会においては、クールビズ期間中であっても議場においては上着を着用していただくことになっておりますので、あわせてお願いをいたします。

○掛谷委員長 ちょっと委員長をかわって。

[委員長交代]

○土器副委員長 どうぞ。

○掛谷委員長 一組とかがいつもそういうふうにおっしゃられるんじゃないけど、そういうものは今の時代で変えることはできないのかなと。申し合わせを変えにゃあいけないのかということになるんですけど、もうそろそろそういうことは話し合いでできるんじゃないかなと。その議論さえできないんかと思ったりするんですけど、いかがなもんですかね。

○石村議会事務局次長 東備消防組合議会は、備前市で事務局を持っておりますのでお話しはできます。東備消防組合議会は備前市議会と同じですので、特に話し合いをいただくことはないと思いますが、ほかの和気町議会事務局が事務局を持っておられます一部事務組合につきましても、そちらの組合でお話をされることかと思っております。

○掛谷委員長 ぜひそういう議員の方々は言っていただければと思っておりますので、要望というのと意見でちょっと言わせていただいております。

○土器副委員長 職務かわります。

[委員長交代]

○掛谷委員長 委員長の職務をかわりました。

ほかに何か、皆さん方。なければこれで終了したいと思いますけど、よろしいですか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

では、以上をもちまして議会運営委員会を閉会とします。

大変に御苦労さまです。またあしたよろしくお願いいたします。

午前11時27分 閉会